

越谷アルファーズ 選手名鑑
2025-26シーズンこれまでの戦績
(1月25日時点) 12勝20敗

①プレーの特徴 ②選手「ウラ」情報 ③アルファメイトからの応援メッセージ

チケットの購入は
こちらから！

ジャワラ ジョゼフ 選手 背番号 8



©KOSHIGAYA ALPHAS

1998年2月9日生まれ
197cm/93kg PF

①徳島ガンバロウズから移籍してきたPFで愛称は「ジョー」。泥臭く常に体を張るハッスルプレーが信条です。高い身体能力を誇り、長いウイングスパンを活かして粘り強くボールに食らいきます。相手を圧倒するアグレッシブなプレーでルーズボールを次々と奪い、チームを鼓舞するジャワラ“スーパー”ジョゼフの今後のさらなる進化にも注目です。

②小さい頃の夢はパイロット
③超越した存在、ジャワラ“スーパー”ジョゼフ！チームに勢いをもたらすジョー！献身的なハッスルプレーをこれからも期待しています！(はつみん)

大庭 岳輝 選手 背番号 14



©KOSHIGAYA ALPHAS

1997年7月29日生まれ
184cm/85kg SG

①横浜ビー・コルセアーズから移籍してきたSGで愛称は「たけるん」。シュート力が持ち味で得意なプレーはもちろん3ポイントシュート。ここぞの場面でスイッチが入る頼れる職人シューターです。安定感抜群なプレーでバスケット通をうならせます。献身的な姿勢でチームを支えます。

②朝起きて最初にすることは猫にあいさつすること
③きれいなフォームから放たれる抜群に安定感のある3ポイントシュートが好きです！勝利に導いてください！(しもゆう)

菅原 佳依 選手 背番号 28



©KOSHIGAYA ALPHAS

2003年2月28日生まれ
191cm/88kg SF

①昨シーズンは越谷で特別指定選手としてプレーしたチーム最年少のSF。シューターとして自ら得点することはもちろん、オフボールの際も粘り強いディフェンスやスペーシングでチームに貢献します。攻守ともに隙のないオールラウンドプレーヤー。若さを活かしたスタミナあふれるプレーでチームを勝利に導きます。

②試合前のルーティンは左足からバッシュを結ぶこと
③ルーキーらしからぬ度胸とはにかみ顔でチームメイトやアルファメイトを虜にする菅ちゃん。越谷の未来を担う活躍を期待しています！(Mackie)

今後の見どころ

個人成績は1月25日時点

2月7日(土)・8日(日) vs 仙台89ERS @総合体育馆

リーグ得点ランキング1位のジャレット・カルバー選手、リーグ3ポイントシュートランキング3位のネイサン・ブース選手、現役レバノン代表のセルジオ・エルダーウィッチ選手、セネガル代表経験のあるブーバー・トゥーレ選手らの得点力は脅威です。今季越谷から移籍した井上宗一郎選手と12月の越谷戦で19得点を挙げた岡島和真選手に注目。

14日(土)・15日(日) vs サンロッカーズ渋谷 @総合体育馆

帰化選手として日本代表に選出されているジョシュ・ホーキンソン選手や2020東京五輪日本代表のペンドラメ礼生選手と田中大貴選手、2025アジア杯日本代表の狩野富成選手とジャン・ローレンス・ハーパージュニア選手ら代表経験者が多く在籍しています。昨季までSR渋谷に在籍していたアンソニー・クレモンズ選手のゲームメイクに期待です。

NEWS

384日ぶりコートに復帰！
カイ・ソット選手

カイ・ソット選手(#11)のインジュアリーリスト抹消の手続きが実施されました。

復帰後に開催された茨城ロボッツ戦では、384日ぶりにコートに立ち、アルファメイトの声援に応えました。

ジェフ・ギブスサポートコーチ、
選手として再びコートに！

ジェフ・ギブス本人から「選手復帰したい」との申し出があり、双方合意のうえ、サポートコーチ契約が解除になりました。

その後、千葉ジェッツとの選手契約が発表されました。

小寺 ハミルトンゲイリー選手、
広島ドラゴンフライズに移籍

小寺 ハミルトンゲイリー選手(#6)との選手契約を双方合意のうえ、解除になりました。

また、移籍先が広島ドラゴンフライズに決定しました。

「ありがとう、コテラさん！」

キラリ◆ミライのたまご

最強小学生！ ブラジリアン柔術で「柔術世界大会」準優勝！

川柳小4年生 柴田 ひかりさん



1月13日、柴田さんがブラジリアン柔術で「柔術世界大会(SJJIF World Jiu-Jitsu Championship 2025)」準優勝、「夏季柔術甲子園2025」優勝の報告をしてくれました。

ブラジリアン柔術は、柔道をルーツにブラジルで発展した競技です。父親と一緒に道場に体験に行ってみたことがきっかけで、楽しそうだと思い、始めました。

ブラジリアン柔術の技術向上のために、レスリングや相撲の競技経験もある柴田さん。「第41回全国少年少女レスリング選手権大会(2024)」2位、「第6回わんぱく相撲女子全国大会(2025)」ベスト16など、他競技での実績も残しています。

目標は「ムンジアル(ブラジリアン柔術の世界最高峰の大会「世界柔術選手権」の通称)に出場して、黒帯で優勝したい」と力強く話してくれました。

大相撲一月場所

星取表

郷土力士の成績は下記のとおりでした。

阿炎関(幕内)

10勝5敗



栃大海関(十両)

3勝7敗5休



菊流峰(序二段)

3勝4敗